通信ともに
第77号
2019年11月27日発行
認定NPO法人ともに
住所　〒044-0053
北海道虻田郡倶知安町北３条西２丁目１－１
でんわ　（0136）55−5828
ＦＡＸ　（0136）55−5829
Ｅメール　info@npo-tomoni.com
ホームページ　http://www.npo-tomoni.com　　ブログ　http://blog.canpan.info/npotomoni/

今月の一枚

気がつけば一気に紅葉〜豊平公園*1
（ワークショップようてい利用者Ｏさん撮影）

*1撮影したＯさんは家族旅行で撮影したということで、「夏は菖蒲（しょうぶ）もきれいなので、また行ってみたい」と話していました。

同友会例会リポート

北海道中小企業家同友会しりべし・小樽支部の「障がい者いきいきフォーラムしごとプラス」の11月例会は、恵庭市で行政、農家、障がい者就労支援事業所がネットワークを組み、農福連携に取り組んでいる事例を、市の保健福祉部障がい福祉課の職員が報告しました。

互いの課題を補えるように

恵庭市は札幌市と千歳市の間にあり、人口は約7万人。年々増加傾向にあるものの、農業就業者の高齢化が進み、離農する方が増えています。一方市内に障がい者就労支援事業所がＡ・Ｂ型合わせて11ヵ所あり、工賃向上が課題となっています。

恵庭市は障がい福祉課と農政課が連携し、事業所に通っている利用者さんが農家さんから作業を提供してもらい、農場へ行き作業をするためのマッチング活動を平成28年から始めました。

当日配付された「農福連携成功事例集」の冊子↓

信頼誕生し見方も変化

活動が始まって3年、当初は農家さん、事業所がそれぞれ懐疑的だったのが、「思ったよりできる」と手ごたえを感じ、やがて互いの信頼関係が生まれたそうです。また豆の選別といった軽作業は高齢者の認知症グループホームでもおこなわれ、入居者さんの生きがいになっています。障がい者、高齢者、外国人などが多様な働き方をしている中で、誰もが取り組みやすい農作業のあり方が意識づけられたのではないかと話しました。

今回当法人は農業部職員と受講しました。ワークショップようていでもこれを模索しているだけに、大変参考になりました。

*4農福連携成功事例集は恵庭市のサイトからダウンロードできます。https://www.city.eniwa.hokkaido.jp/で保健福祉部障害福祉課のページへ。

できることから取り組もう〜就労研修会

11月13日、自立支援協議会就労支援部会による「就労支援に関する研修会」が開かれました。「お菓子のふじい」の代表、藤井千晶氏により「職場の『働きやすさ』について考えてみよう」というテーマで講演されました。

藤井氏の夫が約5年前から原因不明の体調不良が起き、それが柔軟剤などの香り（いわゆる「香害（こうがい）」）による「化学物質過敏症」とわかるまでの苦労、そしてこれをきっかけに同じ症状の人を雇い、一般スタッフと一緒に働くお菓子工場「カナリアップ」の取組みを実生活の様子を交え話しました。

藤井氏は講演の中で「香害や化学物質過敏症を知ること」「働きづらい人の雇用と工夫で人手不足を乗り切る可能性」「まずはできることから変えていく」という３つを伝え、「今日の講演を聴いてなにか共感できることがあればぜひ72時間以内になにか行動してください」と結んでいました。

35人の出席者は福祉、企業、教育関係や一般の方など多彩な顔ぶれでした。また藤井さんの密着取材を続けているＮＨＫカメラクルーがこの模様を取材していました。紙面の関係で詳細は続編として通信にまた掲載したいと考えています。

精神科医　土田正一郎の

その64　「生きる」新仮説

生きるということは、歯を食いしばってたった一人で戦う孤独な営みではなく、みんなでワイワイガヤガヤ相談しながら、泣いたり笑ったり、怒ったり拗ねたりする団体競技である。

そうすると私の輝きはみんなの輝きになり、みんなの輝きは世界の輝きになる。

各事業報告〜10月末現在

障がい者就労支援事業所 ワークショップようてい	契約／移行4人、B型22人 見学／0人、体験／2人
グループホーム よろこび	利用者数　21人 見学／1人、体験／0人
K.S.C. Juntos	当事者選手　13人 サポートスタッフ　18人

◆法人会員　正会員21人、賛助会員　団体5　個人78人
◆今年度寄付金　のべ12人　95,880円
◆寄付物品　牛乳パック

編集後記

先日、筆者の子どもから、今年のクリスマスプレゼントのリクエストを耳打ちされました。（なんで、ないしょ話なんだろう、、、？）ついこの間まで、暑い暑いと言っていたと思ったら、カレンダーもあと2枚です。年々、1年の過ぎるのが早く感じる今日この頃です。（なえむら）

K.S.C. Juntos スポーツで人との交流を～ともにカップ

↓大会の感想を語る折野さん（左）と若松さん
↑井上先生の活動報告
あいさつする小林京極副町長↓

当法人と北海道精神障害者サポーターズクラブの共催で京極町の後援により京極町体育館で開催した「第4回ソーシャルフットボールともにカップ*2」は８チームが参加して熱戦を繰り広げました。

今回は3年前に当法人で講演していただいた石金病院（札幌市）の精神科医である井上誠士郎先生に、K.S.C. Juntosの2人のメンバーを含めた北海道代表「リベルダージ北海道」の活動報告を中心に話していただきました。

井上先生は「試合の勝利を目指すことで得られるものは大きい。選手は同じ障がいを抱えている方にいい影響をもたらす気持ちを持ってほしい。パラリンピックなど障がい者スポーツが注目される中、一過性ではなく細く長く続けられれば」と熱く語りました。

副町長「レベル高くびっくり」

午後からの大会は4チームずつ2グループで総当たりをし、グループの順位ごとに順位決定戦をおこないました。

当日は多忙で来られなかった京極町　梅田禎氏町長に代わり、小林哲也副町長が開会式のあいさつをしてくださいました。小林副町長は精神障がいを持った方が健常者と一緒にレベルの高いプレイをしていること、またこの大会が大規模に開催していることに驚いていました。

各チームとも拮抗した試合が相次ぎましたが、K.S.C. Juntos Unitedが４連覇で優勝しました。試合結果と順位は下記のとおりです。

グループA		Juntos United	リベルダージ札幌	住友建	United Hearts	勝点	得失点差
1	K.S.C. Juntos United		2-1 ○	4-0 ○	3-0 ○	9	+8
2	リベルダージ札幌	1-2 ×		2-1 ○	4-0 ○	6	+4
3	住友建	0-4 ×	1-2 ×		3-0 ○	3	-2
4	United Hearts	0-3 ×	0-4 ×	0-3 ×		0	-10

順位決定戦
７位決定戦
難勝ＦＣ　３－１　United Hearts
５位決定戦
住友建　２－１　K.S.C. Juntos
３位決定戦
リベルダージ札幌　２（１ PK ０）２　札幌ＳＣ
決勝
Juntos United　４－１　ふぉれすと

グループB		ふぉれすと	札幌ＳＣ	Juntos	難勝ＦＣ	勝点	得失点差
1	ふぉれすと		0-1 ×	1-0 ○	1-0 ○	6	+1
2	札幌ＳＣ	1-0 ○		0-1 ×	1-0 ○	6	+1
3	K.S.C. Juntos	0-1 ×	1-0 ○		0-0 △	1	0
4	難勝ＦＣ	0-1 ×	0-1 ×	0-0 △		0	-2

※勝点は勝利＝３点、引き分け＝１点、負け＝０点
※グループＢは１位が同率により１・２位を決定するＰＫ戦をおこない、1-0でふぉれすとが１位通過

第4回ソーシャルフットボールともにカップ　最終順位
1　K.S.C. Juntos United（倶知安町）
2　ふぉれすと（小樽市）
3　リベルダージ札幌（札幌市）
4　札幌ＳＣ（札幌市）
5　住友建（札幌市）
6　K.S.C. Juntos（倶知安町）
7　難勝ＦＣ（倶知安町）
8　United Hearts（名寄市）

*2大会協賛：株式会社川端文化堂、創作和食リストランテさかもと、エクシード、焼肉一起（順不同、敬称略）

障がい者就労支援事業所 ワークショップようてい　商品カタログできました

製造部がつくっているさまざまな商品を、一冊のカタログにまとめました。つくったのは利用者のＡさんで、9月ごろから1カ月以上かけて作りました。パソコンで写真の背景を切り取る作業が大変だったと話しています。

このカタログはコミュニティカフェわっくわくの店内に置くほか、今後の販売促進に活用していきます。

Ａさんは、店頭にある商品以外のものもたくさん作っていることを知ってほしいと意気込みを語りました。

一つの商品を１～２ページかけてじっくりと紹介→

コミュニティカフェ わっくわく　口にまろやか カモミールティー

コミュニティカフェわっくわくでは、農業部栽培のカモミール*3ホットティーを数量限定で提供しています。

自然栽培で育てた花を夏に収穫し、じっくりと乾燥させたカモミールは、リンゴみたいなフルーティーでまろやかな味わいです。本によるとリラックス効果もあるそうです。

カフェでは一杯350円で飲むことができますし、茶葉をビンに詰めて販売しています（こちらも数量限定）。一例として当カフェでの淹れ方を掲載します。なお妊娠中の方は、ホルモンバランスに影響がありますので控えたほうが良いそうです。

カモミールの花（7月撮影）しゃがんで摘み取りにがんばりました

茶葉２グラムに対し90度くらいの湯を250ＣＣ

ポットにカバーをかけて３分程度蒸らします

冷めないうちにどうぞ♪２杯目もおいしいですよ

グループホーム よろこび　自立目指し調理実習

グループホームでは日常生活の中の食事の自立訓練として、月に1回程度調理実習を行っています。今回「えがお」でお好み焼きを作りました。このお好み焼きは出来合いの粉ではなく、薄力粉にだし粉や調味料を配合するところから作っているという本格派です。

調理が得意な入居者さんを中心に、キャベツの千切り、生地を混ぜる、洗い物など役割分担をして楽しく取り組んでいました。出来上がったお好み焼きは、「格別の美味しさ（Mさん）」だったそうです。次回は冬にぴったりな温かいメニューを予定し楽しみにしています。

*3カモミールの花言葉は「逆境に耐える」、踏まれるほど丈夫に育つことから来たそうです。